

令和元年第10回教育委員会会議定例会 議事録

午後 1時30分開会

1 日 時 令和元年10月24日(木)

午後 2時00分閉会

2 場 所 教育委員室

3 出席者 高田教育長, 浅野教育長職務代理者, 市川委員, 竹下委員, 西川委員,
中秋委員

4 説明員 中川教育次長, 吉本学校教育課長

5 会議事件
付議案件

報告・協議 竹原市学校施設長寿命化計画の策定について

○高田教育長 ただいまから, 令和元年第10回竹原市教育委員会会議定例会を開会いたします。教育委員会会議を傍聴したいとの申し出がございましたので, これを許可したいと思います。

○高田教育長 はじめに, 報告・協議事項といたしまして, 「竹原市学校施設長寿命化計画の策定について」を議題といたします。関係課より報告をよろしくお願い致します。

○中川教育次長 「竹原市学校施設長寿命化計画の策定について」御報告させていただきます。長寿命化計画につきましては, 今年度の当初予算で長寿命化計画基礎調査を行うということで, 当初予算の議案で御説明させていただいたところですが, 令和2年度, 2020年度中に策定が求められております学校施設長寿命化計画において, 今年度の基礎調査事業については, 施設の老朽度具合を数値化して今後の施設改修の優先順位付けに役立てようと調査を行っているところでございます。概ね, 今月中にその調査が終わりまして, 今後長寿命化計画の素案を作成して, 市長部局と調整をした後に教育委員会に素案の説明をさせていただいて最終的には今年度中に教

育委員会議で承認をいただくというスケジュールで動いています。概ね、調査が終わって素案作りに入っていきますので、今後の流れも含めまして、改めて長寿命化計画の流れを御説明させていただきます。

流れの御説明の前に今回、「参考【用語解説】」の資料をお付けしております。今後、よく出てくる単語で大きく3点の用語について覚えておいていただければ、長寿命化計画というものがどういったものなのかお分かりいただけるかということで御用意させていただきました。まず1点目に、「ライフサイクルコスト」という言葉でございます。「ライフサイクルコスト」につきましては、建物の設計建設から、点検清掃等の運営管理、解体処分まで、この一連の流れを建物の生涯としまして、全期間にかかる経費・費用のことを「ライフサイクルコスト」と言います。そして、今回我々が作ろうとしている「長寿命化計画」とは、建物は竣工後から解体廃棄されるまでの期間に建設費のおよそ3～4倍の費用がかかると言われ、建物の運営や修繕更新を、計画性を持っていかに行うかによって、発生する費用や建物の寿命は大きく異なるため、計画的に修繕更新を行うことにより、大切な資産価値の維持・向上を行うとともに、建物をより長く活用することを目的とした計画でございます。最後に、「予防保全」という言葉が出てまいります。「予防保全」とは、建物を定期的に点検・診断し、異常や致命的な欠陥が発現する前に対策を講じることでございます。単に修理を行うのではなく、戦略的な維持管理・更新を行うということでございます。「予防保全」に対しまして、対処療法的に劣化箇所を補修することを「事後保全」と言いまして、「事後保全」に比べ「予防保全」のほうが、建物を長持ちさせ更新時期を先送りすることができ、ライフサイクルコストを低減することが出来るといわれております。この3点の用語の主旨に従って、今回計画を定めようとしているものでございます。

それでは、事前にお配りしております議案集の2・3ページをお開きください。まず、全国的な流れとしまして、学校施設の長寿命化計画の背景

でございます。我が国においては、第2次ベビーブーム世代の増加に伴って、昭和40年代後半から50年代にかけて、学校施設が多く建設されておりますが、それらの建物が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せているということがございます。学校施設は、子供たちが学び、生活をする場であるとともに、地域住民の生涯スポーツ、文化等の活動の場で、災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設となっております。そのため、学校施設の老朽化対策は先送りのできない重要な課題であるというのが全国的な考え方となっております。そこで、平成25年11月、「インフラ長寿命化基本計画」が国において策定されております。所管としては、国土交通省になります。その中で中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を図る方向性が打ち出されております。これを踏まえまして、文部科学省におきまして、平成27年3月に「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」策定しております。このような状況の中で、文部科学省においては、各地方公共団体、都道府県、市町村に向けて学校施設を対象とした長寿命化計画ができるだけ早期に策定されるよう平成27年4月に、学校施設の長寿命化計画に盛り込むべき内容が記載された手引書が策定されております。その中で、先ほど申し上げました、竹原市においては今年度長寿命化計画基礎調査を行いまして、今年度末に計画の承認をいただいて、2020年度の策定というスケジュールで動いております。3ページにそれらの計画の位置づけをフロー図としてお示ししております。今申し上げましたように国がインフラ長寿命化基本計画を策定して、文部科学省がインフラ長寿命化計画を作成しております。本市におきましては、竹原市総合計画の中で、竹原市公共施設等総合管理計画を平成29年3月に策定しておりまして、その下部計画となります竹原市学校施設長寿命化計画を策定しようとしているところでございます。スケジュールにもありますように、今年の6月から特定建築物の定期検査に合わせまして、学校施設の劣化状況調査を行っており

ます。今現在、その報告書をいただいた中で、素案の作成をしているところでございます。先ほど申しましたように、財政面のこともございますので、一定には市長部局との調整を行いまして、最終的には2月から3月の教育委員会会議において、この学校施設長寿命化計画の承認をいただこうということで、事前に教育委員会会議において、素案の説明をさせていただければと考えております。全体的な背景、これからのスケジュールを含めて、このような流れになっております。4ページと5ページに先ほど申しました国のインフラ長寿命化基本計画の概要と文部科学省のインフラ長寿命化計画（行動計画）の概要という資料を参考につけておりますので、また時間のある時に見ておいていただければと思います。

実際に今現在の状況でございます。6ページ7ページをお開きください。先に7ページですが、竹原市立学校施設の耐震診断結果の状況ということで、一覧表を付けさせていただいております。学校名と建築年度が入っております。竹原市においても昭和50年代の建築物が多くなっております。耐震化については、耐震補強または増築等の新築部分も含めまして、全ての建物において、学校においては耐震化が終わっている状況でございます。1番の竹原西幼稚園については、今年度末をもって、廃園が決定しておりますので、来年の4月1日現在では全ての学校施設の耐震化が終わっている状況になります。先ほど申しました平成29年の3月に作成しております竹原市公共施設等総合管理計画の公共建築物、学校教育施設に関わる部分を6ページに抜粋させていただいております。公共施設総合管理計画については、全ての公共施設、道路も公共施設にはなるのですが、公共建築物、いわゆる建物の部分については、こういった形で方向性を示しながら個別計画で具体的な考え方を示していくということにしておりますので、学校教育施設は、今後は定期点検等による適切な維持管理を行うとともに予防保全を行い長寿命化を図りますということで、大きな方向性を示すことにとどめております。それが今年度末に承認をいただく学校長

寿命化の方針によりまして、もう少し具体的に方向性を決めていくということになってまいります。考え方としましては、主には皆様のイメージと同じかと思いますが、屋上であるとか建物の外壁、水道等の設備、給排水の設備いわゆる大規模な改修が必要なものを中心的に方向性を示していければと思っております。課題としましては、今ある全ての学校施設をどうするかということではなくて、集約というもう一つの課題がありますので、並行してこれからのビジョン、構想を時点修正していかなければならないと思っておりますので、まずは現存する建物をどのような形で長寿命化を図っていく、予防保全しながら、長寿命化の方針を策定するということで御理解いただいて、次回素案を御説明する際に教育委員の皆様の意見をまとめていければと思っております。

最後に県立学校施設長寿命化方針ということで、広島県が平成30年3月に策定している方針について、本日資料としてお付けしております。これについては、次回市の方針を示すときに参考にさせていただければということで配布しております。

- 高田教育長 これより質疑に入ります。何か御質問はありますか。
- 竹下委員 3ページのスケジュールの1番下の2月から3月というのは、令和2年になるのですね。来年の2月ですね。
- 中川教育次長 令和2年です。
- 高田教育長 3ページの下から3行目、R1をR2に修正願います。
- 西川委員 旧忠海西・忠海東小は全く対象外ということですね。
- 中川教育次長 竹原西幼稚園もそうなのですが、廃園・廃校と同時に学校教育施設ではなくなるという考え方になります。
- 竹下委員 この地図の中の吉名中学校（改修中）になっていますね。その上に吉名小学校・吉名中学校とあるのは今現在の吉名の学校は、吉名小学校・吉名中学校の方ですか。
- 中川教育次長 平成29年3月に策定した計画の抜粋になりますので、吉名学園が昨年

の4月からです。公共施設総合管理計画を作っているときは、吉名学園に集約している時だったので、この当時はまだ学校ということで位置付けがされています。

- 竹下委員 現在の位置はどちらですか。
- 中川教育次長 左の吉名中学校（改修中）の方です。
- 竹下委員 改修中の方が現在の学校ですね。
- 吉本課長 中学校が小学校の方に下りて、中学校を吉名学園に改修している時だったので、このようになっています。
- 竹下委員 一時、中学校が下りてきていたのですね。
- 吉本課長 改修するために中学校が小学校に移って、そこで授業をして、その間に改修している時の資料です。
- 竹下委員 現在の学校は改修中という方ですね。今の吉名小学校はどうなっているのですか。
- 中川教育次長 今は、廃校になっていますが、グラウンドや体育館は社会教育の方で、少年野球やバレーで使っている状況です。今、忠海の旧東・西・吉名の3施設については、跡地活用ということで、我々としては管理してくださる方を公募したいということで、忠東と吉名は地元の方々と協議会形式で公募に向けた話し合いを進めている状況です。
- 竹下委員 校舎は使っていないということですね。
- 中川教育次長 使っていません。特に吉名の場合は、校舎に耐震性がないので、校舎をそのまま活用しようということは我々としては考えにくい。忠海東・忠海西については、耐震性のある建物なので、できればそのまま使ってもらいたいということで公募したい。
- 浅野教育長 建物は竣工後から解体廃棄されるまでの期間に建設費のおよそ3から
職務代理者 4倍の費用が掛かるということですが、だいたい建物の寿命というのは何年くらいなのか。
- 中川教育次長 60年です。償却の部分でいうと学校は文部科学省から国の補助金が入

って建設しているので、その後何かに転用する場合には補助金を返さなければいけないということもあって、その計算が約60年で、例えば30年使っていたら残りの30年分の補助金を返しなさいというのが原理原則になっています。

○浅野教育長 60年経てば後は自由に使ってよいのですね。今の学校は昭和50年代
職務代理者 にできたものが多いですよ。3から4倍の経費が掛かるとなれば、メンテナンスに係る予算というのは毎年、市で計上されているのですか。

○中川教育次長 財政面もあるのですが、我々としては計画的に大規模な修繕の一覧を作
っておりまして、今年度は、例えば中通小と竹西小だというような、外壁や防水、設備等、いろいろ平準化するよう計画しています。財政事情でなかなか計画どおりにいかないところが実情です。

○浅野教育長 耐震はしっかりしておこうということで全て終わっているのですね。
職務代理者

○中川教育次長 優先するのは、先ほど申しました屋上の防水と外壁で、児童・生徒に直
接的な危害が及ぶようなことがあってはいけないので、そこを優先しているのが実情です。

○中秋委員 この調査は特定の業者が行うのですか。

○中川教育次長 今回の基礎調査は一級建築士の資格を持った方に目視、全て目で見ても
らって図面を見ながら、劣化が激しいかどうか調査していただいております。

○中秋委員 耐震工事の時は、それだけを見たということですか。

○中川教育次長 耐震は、いわゆる躯体とって構造のコンクリートの強度等、サンプル
を抜いてコンクリートの劣化度合まで調べているのですが、今回の場合は、長寿命化という先ほど言いましたように基礎や外壁や屋上を中心にみて、今回竹原中が外壁改修しましたがけれども、このように優先順位を付けるのが1つの目的なので、機械を持ち込んでという調査ではありません。

○中秋委員 いずれは、こうした公共施設は改修して長寿命化して、災害があった時

の避難場所にもつながっていくのですね。

○中川教育次長　　竹原市は地形的に川沿いに学校がありまして、賀茂中・竹原中・竹原西小もそうですが、避難所でひとくくりにするのも少し住民説明の仕方を変えていかなければいけないと思うのですが、例えば洪水だと東野小で言えば土砂災害のレッドゾーン・イエローゾーンに体育館は入っています。それでも地元の方は、学校を避難所にしてほしいと言われることもあります。その部分も、我々の方で指定するしないは判断できないので、防災のセクションの方とそういった場を設けて、庁内の考え方を整理するべきではないかということも言わせていただいています。

○高田教育長　　本定例会に付議された議案の審議は全部終了いたしました。以上をもちまして令和元年第10回竹原市教育委員会会議定例会を閉会いたします。

令和元年10月24日　　午後2時00分閉会